

科目名	作業学実習Ⅱ①			授業の種類	実習	講師名
授業回数	23 回	時間数	45 時間 1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期
【授業の目的・ねらい】 作業療法の臨床現場では様々な作業活動が行われています。ここでは代表的な作業活動を実際に行い、心身に与える影響を考えます。						
【実務者経験】 県立病院で20年勤め、その他一般病院、デイサービス、訪問リハビリなどでも勤務。身体障害領域の急性期から維持期まで幅広いリハビリテーションに従事している。						
【授業全体の内容の概要】 前期にはこまごまとした手工芸を中心とする作業活動を8種目、後期にはダイナミックな作業活動を含めた7種目行います。						
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 各作業活動の作業工程と使用する物品名および使用方法を熟知し、心身に与える影響を述べることができる。						
回数	講義内容					準備物(教材)
1	切り絵					
2	切り絵					
3	アンデルセン					
4	アンデルセン					
5	スプールウィービング					
6	スプールウィービング					
7	釉薬					
8	釉薬					
9	刺し子					
10	刺し子					
11	木工					
12	木工					
13	木工					
14	木工					
15	木工					
	定期筆記試験					
【使用教科書・教材・参考書】 ゴールドマスター・テキスト作業学第3版（メジカルビュー）						
【準備学習・時間外学習】						
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は作業分析の課題の評価を30点、作品の評価を30点、定期筆記試験を40点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。						

